

富谷市教育委員会

富谷市では、この結果をもとに、教育施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら、教育施策の改善などに役立てていきます。

した。

各教科における正答数分布をみると、小・中学校とも全国平均・宮城県平均とほぼ同じような分布となっていますが、富谷市の小学校算数は全国・県よりも正答数が少ない児童が若干多くなっています。富谷市の中学校数学では、正答数のやや多い生徒も多くなっています。

問題別の正答率では、富谷市の小学校国語では、全国平均を5%以上上回った問題はありませんでしたが、「2四イ」の正答率は全国平均を10.2%下回りました。小学校算数でも、全国平均を5%以上上回った問題はありませんでしたが、問題番号「2(2)」の正答率が全国平均を10.2%下回り、「3(3)」の正答率が5.8%下回りました。小学校理科でも、全国平均を5%以上上回った問題はありませんでしたが、問題番号「2(4)」の正答率が全国平均を12.4%下回りました。

中学校国語では、問題番号「3三」が全国平均を7.4%上回りましたが、問題番号「1四」は全国平均を5.0%下回りました。中学校数学では、全国平均を5%以上上回った問題はありませんでしたが、全国平均を5%以上下回った問題もありませんでした。中学校理科では、問題番号「1(5)」が全国平均を10.7%、「7(2)」が8.4%、「6(1)」が7.9%、「3(2)」が6.1%、「5(2)」が5.8%上回りました。一方、問題番号「3(1)」は全国平均を7.1%、「9(1)」は、全国平均を6.0%下回りました。

(2) 児童生徒質問紙調査

富谷市の小学校では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合で判断すると、家庭での言語を問う4番の項目を除く全86項目中、回答率が90%以上で全国平均も上回った質問が8項目あり、回答率50%以上で全国平均を5%上回った質問も3項目ありました。特に、ICT関係、学び合い等の項目が高くなりました。

一方、富谷市の小学校で、全国平均を下回ったのは過半数の47項目となりました。特に5%以上下回ったのは以下の5項目でした。(括弧)は質問番号を示しています。

- ①「学校のプレゼンテーションを作成することができるか」(29-4)で全国比－7.8
- ②「理科で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか」(63)で全国比－7.4
- ③「理科で学習したことを普段の生活の中で活用できているか」(65)で全国比－7.0
- ④「塾や家庭教師の先生に教わっているか」(20)で全国比－6.1
- ④「理科に関する疑問を持ったり問題を見出したりしているか」(66)で全国比－6.1

「プレゼンテーションの作成」が全国比で最大の差が出たのは意外な感じがしますが、プレゼンテーション等の情報の発信についての学習が不足していた可能性があります。また、理科に関する項目が多く含まれ、より一層の工夫・改善を図り、理科の有用性や実生活の利便性、好奇心を高める指導が必要とされます。

中学校では、家庭での言語を問う4番の項目を除く全76項目中、回答率が90%以上で全国平均も上回ったものが10項目ありました。また、回答率50%を超え全国平均を5%上回ったものが14項目ありました。小学校でも高かった「ICT関係の活用」「学び合い」等の他に、理科関係の項目の回答が良好でした。

一方、富谷市の中学校で、全国平均を下回ったのは25項目で3割弱となりました。特に5%以上下回ったのは以下の1項目だけでした。(括弧)は質問番号を示しています。

- ①「塾や家庭教師の先生に教わっているか」(20)で全国比－5.5

4 今後の対応

今回の調査結果及び分析結果を本市の教育施策の検証・改善に生かし、子どもたちが学習に意欲を持って取り組めるよう学校、家庭、地域及び市教育委員会が連携して、教育活動の充実や生活・学習状況の改善に取り組みます。なお、今後、各学校においても、課題改善に向けた指導の方向性や対策を明らかにするとともに、保護者にも説明し、協力をお願いすることとしております。

小 学 校 国 語 問 題 解 説

※著作権保護のため、調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2 四ア	【ちらし】の下線部アを、漢字を使って書き直す（このみ）	81.9	8.7
正答例	好（み）		

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3 一	【資料1】を読んで思い出した【木村さんの経験】を通して、木村さんが気付いたこととして適切なものを選択する	82.9	0.7
正答例	3 （世代によってもものの呼び方がちがうこと）		

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3 二 (1)	【木村さんのメモ】の空欄アに入る適切な言葉を【資料2】の中から書き抜く	84.3	2.2
正答例	あたらし		

【正答率が低かった問題】 正答率が30%を下回った問題

正答率が30%を下回った問題は富谷市も全国もありませんでした。

小 学 校 算 数 問 題 解 説

※著作権保護のため、調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
4 (1)	新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を選ぶ	85.2	0.5
正答例	ア 1プッシュ分のハンドソープの液体の量 3 mL		

【正答率が低かった問題】 正答率が30%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
1 (2)	都道府県Aのブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、そのわけを書く	26.5	0.9
正答条件	記号を ア と選び、次の①、②の全てを書いている。 ① グラフ3に着目したことを表す言葉 ② 2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より多いことを表す言葉や数		

目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題です。

ここでは、都道府県Aのブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、示された帯グラフと棒グラフから数量を表すグラフとして棒グラフを選択し、都道府県Aの出荷量に着目することが必要です。その際、都道府県Aのブロッコリーの出荷量が2023年は2013年より増えたと判断した理由を記述する上で、次の二つの事柄を書くことが必要です。

・グラフ3に着目したこと

・2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より多いこと。記号について、アと解答することができている

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、「ア」と回答し、2023年は2013年より増えたと判断できしており、グラフ3に着目したことも記述できていますが、2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より多いことは記述できていない解答で22.2%でした。次に多かったのは、「イ」と解答し、都道府県Aのブロッコリーの出荷量の割合に着目し、2023年は2013年より減ったと判断していると考えられる解答で22.0%でした。

無解答率も0.9%と低めでした。(全国は無解答率も0.9%)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3 (2)	$3/4 + 2/3$ について、共通する単位分数と、 $3/4$ と $2/3$ が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く	19.8	13.9
正答条件	(正答の条件) 次の①、②、③の全てを書いている。 ① $3/4$ と $2/3$ に共通する単位分数が、 $1/12$ であることを表す数や言葉(分母が12の倍数の単位分数を含む) ② $3/4$ が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉 ③ $2/3$ が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉		

分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題です。

本設問では、分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかを問っています。ここでは、例えば、 $3/4$ と $2/3$ について、共通する単位分数として $1/12$ を見だし、 $3/4$ は $9/12$ であることから $1/12$ の9個分、 $2/3$ は $8/12$ であることから $1/12$ の8個分ということを捉えることが必要です。その際、 $3/4$ と $2/3$ について、共通する単位分数の幾つ分かを記述する上で、次の二つの事柄を書くことが必要です。

・ $3/4$ と $2/3$ に共通する単位分数が $1/12$ であること(分母が12の倍数の単位分数を含む)

・ $3/4$ と $2/3$ がそれぞれ共通する単位分数の幾つ分か

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、通分について記述していますが、 $3/4$ と $2/3$ に共通する単位分数が $1/12$ であることまで示していない解答で25.0%でした。次に多かったのは、 $3/4$ と $2/3$ に共通する単位分数が、 $1/12$ であることを表す数や言葉(分母が12の倍数の単位分数を含む)を答えている解答で7.7%でした。

記述式のため、無解答率も13.9%と高めでした。(全国は無解答率も15.7%)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3 (3)	数直線上に示された数を分数で書く	29.2	8.3
正答条件	ア $1/3$ イ $5/3$ 又は 1 と $2/3$		

数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかを問う問題で、全国平均の正答率を5.8%下回りました。

ここでは、0から1までを3等分した目盛りの一つ分の大きさは $1/3$ であることを見いだし、目盛りが表す数を、 $1/3$ の幾つ分として捉えることが必要です。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、アの目盛りが表す数とイの目盛りが表す数を分数で表現することができず、目盛りが表す数を小数で答えている解答で14.4%で、次に多いのが、アが $1/3$ 、 $1/6$ 以外で分子が1である分数を答えており、イが $5/3$ または1と $2/3$ 以外と答えている解答で14.1%でした。

記述式のため、無解答率も8.3%と比較的高めでした。(全国の無解答率も7.8%)

小 学 校 理 科 問 題 解 説

※著作権保護のため、調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
1 (1)	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込む時間の違いを調べる実験の条件について、コップAの土の量と水の量から、コップBの条件を書く	82.9	2.3
正答例	ア 300 イ 250		

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2 (3)	ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるため、コイルの巻数の変え方を書く	80.2	1.3
正答例	多くする		

【正答率が低かった問題】 正答率が30%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2 (1)	アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ	8.5	0.4
正答条件	アルミニウム 2, 鉄 1, 銅 2 と解答しているもの		

身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる問題です。ここでは、アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるかなど、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶことができるかどうかを問っています。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、アルミニウム、鉄、銅のいずれかに、3または4と答えている解答で79.6%でした。アルミニウム、鉄、銅のいずれかが電気を通さないと誤って捉えていますが、金属の共通する性質として、電気を通すという知識が身に付いていないと考えられます。

無解答率は0.4%と低めでした。(全国の無解答率は0.6%)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3 (4)	レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気づきを基に、見いだした問題について書く	28.5	10.8
正答条件	以下の①、②の全てを記述している。 ① <条件>から、日光または肥料について、1つ選んで記述しているも ② レタスの発芽に関し、疑問を示す趣旨で記述しているもの		

レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる問題です。複数の自然の事物・現象を比較し、差異点や共通点を捉え、新たな問題を見いだしていくことの重要性について意識して授業を改善することが大切であると考えられます。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、①について記述していますが、②に関する記述がない解答で、38.0%ありました。<条件>の日光、肥料の中から1つ選んでいます。疑問を示す趣旨での表現となっていました。このことから、差異点や共通点を基に問題を見だし、その内容を適切に表現することに課題があると考えられます。

記述式のため、無解答率も10.8%と比較的高めでした。(全国は無解答率は11.4%)

中学校国語問題解説

※著作権保護のため、調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
1 二	ちらしに「会場図」を加えた目的を説明したものとして適切なものを選択する	84.1	0.0
正答例	4 (展示する作品と体験コーナーの内容や配置を伝えるため)		

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3 一	物語の始めに問いかけが示されていることについて、その効果を説明したものとして適切なものを選択する	82.0	0.7
正答例	2 (語り手が読者に、榎木の実に関する経験を問うことによって、榎木の実にまつわる物語に関心をもたせる効果)		

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3 二	「兄」と「弟」が、物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く	92.0	2.7
正答例	兄 気が長い 弟 気が短い		

【正答率が低かった問題】 正答率が30%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
1 四	ちらしの読み手に向けて、今年の美術展の工夫について伝える文章を書く	26.0	1.8
正答条件	次の条件を満たして解答している。 ① 【工夫】のいずれか一方と、【感想の一部】のいずれか一つを選んで、選んだ記号を塗り潰している。 ② 選んだ【工夫】に結び付く【感想の一部】を選んでいる。 ③ 選んだ【工夫】の内容と【感想の一部】の内容を適切に取り上げて書いている。 ④ 接続する語句や指示する語句を用いて、選んだ【工夫】と【感想の一部】とを適切に関係付けて書いている。		

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる問題で、全国平均正答率を5.0%下回りました。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、条件①、②、③を満たし、条件④を満たしていない解答で、11.1%でした。自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題があります。自分が伝えたい今年の美術展の【工夫】と、それに結び付く小学生の【感想の一部】を選び、選んだ【工夫】の内容と【感想の一部】の内容を適切に取り上げて書くことはできていますが、接続する語句や指示する語句を用いて、選んだ【工夫】と【感想の一部】とを適切に関係付けて書くことができていないと考えられます。

記述式でしたが、無回答率も1.8%と低めでした。(全国の無解答率は1.6%)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2 四	発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書く	25.1	4.3
正答条件	次の条件を満たして解答している。 ① 〔工夫の仕方〕のA、B、Cのいずれか一つを選んで、その記号を塗り潰している。 ② 選んだ〔工夫の仕方〕について、どのように工夫するかを具体的に書いている。 ③ 工夫することで、どのように分かりやすくなるかを書いている。 ④ ③について、破線囲みの内容を適切に取り上げて書いている。		

資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題です。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、条件①、②、③を満たし、条件④を満たさない解答で、19.6%でした。資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題があります。選んだ〔工夫の仕方〕について、どのように工夫するかを具体的に書くことと、工夫することでどのように分かりやすくなるかを書くことはできていますが、【村田さんのスピーチ】の破線囲みの内容のうち、どの部分をより分かりやすく伝えたいかを明確にすることができていませんでした。

記述式でしたが、無回答率も4.3%と低めでした。(全国の無解答率は4.0%)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3 四	「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそのように考えた理由を書く	17.8	30.5
正答条件	次の条件を満たして解答している。 ① どのような効果があるかを書いている。 ② ①のように考えた理由を、「破線囲みの部分のような『あとに続く話』が、『一 木の実』にはあるが、『二 釣の話』にはない」という展開を踏まえて書いている。 ③ ②について、物語の内容を適切に取り上げて書いている。		

文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる問題です。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、条件①、③を満たし、条件②を満たしていない解答で、27.6%ありました。文章の展開について、根拠を明確にして考えることに課題があります。文章

の展開の効果について書くことができていますが、理由を書く際、物語の内容を取り上げているものの、本問で着目している展開を踏まえて書くことができていませんでした。

記述式のため、無回答率も30.5%とかなり高めでした。(全国の無解答率は28.1%)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
4二	手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見付けて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く	29.2	19.3
正答条件	次の条件を満たして解答している。 ① 削除したり書き直したりしたい部分を一つ決めて、以下のような適切な修正をしている。 A 長い文を修正している。 B 語句を修正している。 C 語順を修正している。 ② 修正した方がよいと考えた理由を、誤りなく具体的に書いている		

読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる問題です。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、条件①を満たし、条件②を満たさない解答で、15.3%でした。読み手の立場に立って、語句の用法や叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題があります。削除したり書き直したりしたい部分を見付けて、適切な修正をすることはできていますが、なぜその部分を修正した方がよいと考えたのか、理由を適切に述べることができていませんでした。

次に多かったのは、条件②を満たし、条件①を満たさない解答で、14.3%でした。こちらも読み手の立場に立って、語句の用法や叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題があります。文章を推敲する際に、修正した方がよい場合について説明することはできていますが、実際に【手紙の下書きの一部】を適切に修正することができていませんでした。

記述式のため、無回答率も19.3%と高めでした。(全国の無解答率は19.1%)

中学校数学 問題解説

※著作権保護のため、調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

正答率が80%を上回った問題は富谷市も全国もありませんでした。

【正答率が低かった問題】 正答率が30%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
6 (2)	$3n$ と $3n+3$ の和を $2(3n+1)+1$ と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であることを説明する	28.1	25.2
正答条件	「○○は、◇◇である。」という形で、次の(a)、(b)について記述しているもの。 (a)○○が、「連続する2つの3の倍数の和」である。 (b)◇◇が、「奇数」である。 (正答例)・連続する2つの3の倍数の和は、奇数である。		

式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題です。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、 $2(3n+1)+1$ から読み取れてはいないが、連続する二つの3の倍数の和について成り立つ事柄を記述している((a)についての記述が十分でないものや、(a)に

についての記述がないものを含む) 解答で 15.7%でした。次に多かったのは、成り立たない事柄を記述している (a) についての記述が十分でないものや、(a) についての記述がないものを含む) 解答で 12.0%でした。

記述式のため、無回答率も 25.2%とかなり高めでした。(全国の無回答率は 24.9%)

中学校理科 問題解説

※著作権保護のため、調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
1 (6)	水道水と精製水に関する2人の発表を見て、探究の過程におけるあなたの振り返りを記述する	81.6	10.6
正答例	精製水は水道水を蒸留したり、ろ過したりしているということが分かり、ミネラルウォーターはどのようにして作られているのかについてさらに疑問を感じたので、調べてみたいと思いました。		

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2 (2)	「Web ページの情報だけを信用して考察してよいか」について判断し、その理由として適切なものをすべて選択する	96.0	0.0
正答例	Web ページの情報は信用できるものばかりではないので、学校の図書室で図鑑や専門書などを調べて考察したり、実験を行い、その結果から考察したりする。		

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3 (2)	抵抗に関する知識を手掛かりに、身近な電気回路に抵抗がついている理由を選択する	91.3	0.0
正答例	電流が流れすぎないようにする		

問題	問題の概要	正答率	無解答率
4 (2)	「一酸化炭素は空気より軽い」という性質を基に、適切な避難行動を選択する	97.4	0.0
正答例	低い姿勢で非難する		

【正答率が低かった問題】 正答率が30%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
1 (4)	生物1から生物4までの動画を見て、呼吸を行う生物をすべて選択する	26.2	0.2
正答例	生物1, 生物2, 生物3, 生物4のすべてを選択している		

水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる問題です。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、「生物1」、「生物2」、「生物3」、「生物1・生物2」、「生物1・生物3」、「生物2・生物3」、「生物1・生物2・生物3」と解答した生徒で、63.2%でした。生物4が動かないので、動いている生物だけが呼吸を行うと考えていると思われます。このため、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いていないと考えられます。

問題	問題の概要	正答率	無解答率
9 (1)	【予想】から学習した内容が反映されたAさんの【振り返り】を読み、Aさんの【予想】を判断し、選択する	25.8	0.0
正答例	煙のようなものがあがる化学変化が起こったのではないかと解答しているもの		

気圧について科学的に探究する場面において、状態変化や圧力に関する知識及び技能を基に、予想が反映された振り返りについて問うことで、探究の過程の見通しについて分析して解釈できるかどうかをみる問題で、全国平均の正答率を6.0%下回りました。

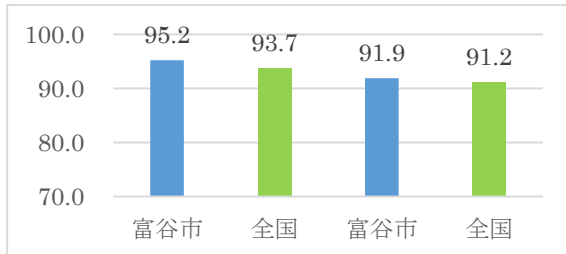
誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、温めると缶の中の体積が大きくなるように、冷えると空気の体積が小さくなると思った解答で54.8%でした。「最初は燃焼が起こって」という振り返りに対して、Aさんの予想を「冷えると空気の体積が小さくなる」と指摘し、Aさんの探究の過程を正しく捉えていないと思われます。このことから、探究の過程の見通しについて分析して解釈することに課題があると考えられます。

無回答率も0.0%と低めでした。(全国の無解答率は0.3%)

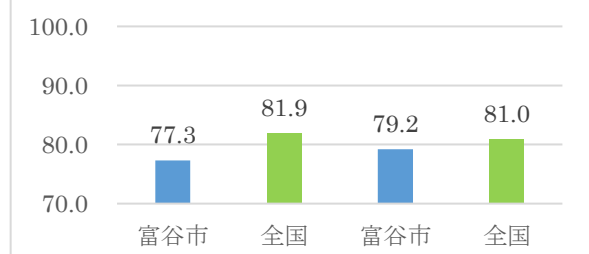
質問紙調査の結果と分析

生活習慣

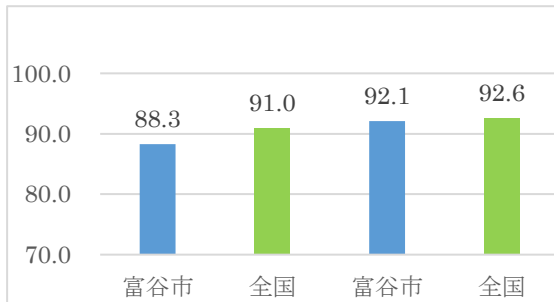
Q 1 朝食を毎日食べていますか
小学校 中学校



Q 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
小学校 中学校



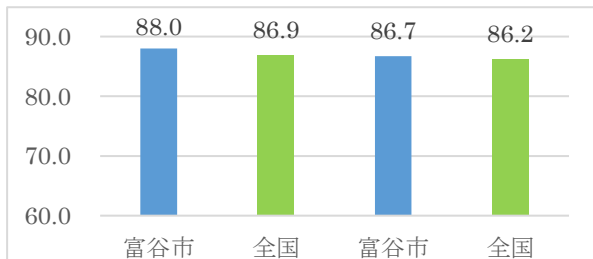
Q 3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
小学校 中学校



小・中学校とも朝食摂取が全国を上回っていますが、就寝・起床時刻とも全国を下回りました。
今後も、学級活動や学校だよりで話題にするなど、規則正しい生活習慣を身に付け、健康に留意して生活できるよう、学校や家庭で子どもと一緒に話し合う機会をつくるのが大切です。

自己有用感

Q 5 自分にはよいところがあると思いますか
小学校 中学校

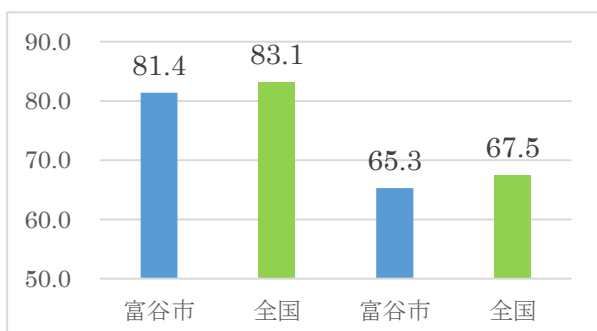


「自分にはよいところがあると思いますか」という項目においては、全国並みとなりました。富谷市、全国の小・中学校とも8割を超える児童生徒が「よいところがある」と答えています。

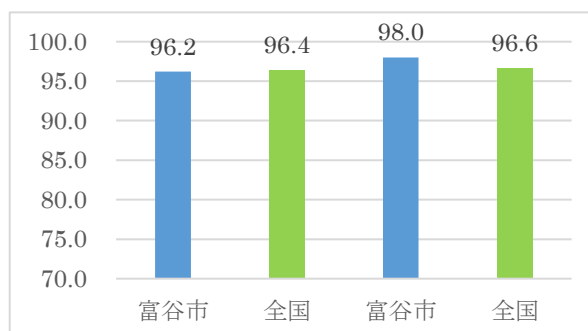
授業や学校行事、日常の当番活動や係活動などにおいて、よいところを認め具体的に伝えること、そして、互いのよさを認め合える集団づくりを行っていくのが大切です。

将来の夢や目標について

Q 7 将来の夢や目標を持っていますか
小学校 中学校



Q 1 1 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
小学校 中学校

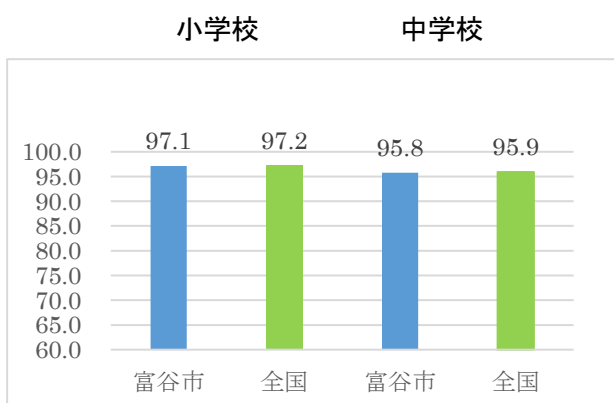


「将来の夢や目標を持っている」割合は、小学校・中学校とも全国を下回りました。「人の役に立つ人間になりたいと思っている」割合は、富谷市・全国の小・中学校とも96%以上と高くなっています。小学校は全国並みですが、中学校は全国をやや上回って98%と100%に迫る数値です。

将来の夢や目標を持つためには、自己をしっかりと見つめさせ、夢や希望について考える場と時間を十分に与えるだけでなく、さらにそれについて教師と一緒に語り合える場を設定することも大切です。また、人の役に立つ人間を目指すためには、子どもたち一人ひとりに積極的に役割を与えるなど、自信を持ち、自分の価値に気づかせ、自己有用感を高める指導も必要です。

いじめについて

Q 9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思います



「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた割合は、富谷市の小学校・中学校ともでは全国並みとなっています。富谷市・全国とも95%以上の高い数値です。

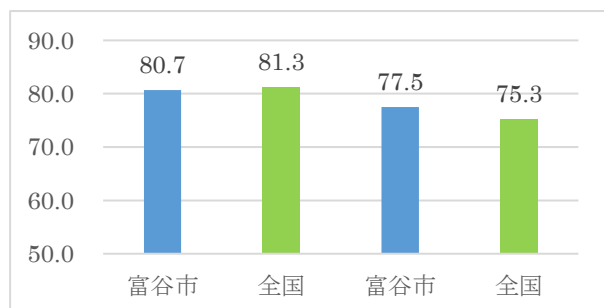
いじめの問題については、「あなたならどうするか」と自分のこととして考えさせ、話し合わせることを通して、「いじめられる側にも問題がある」という考えは誤りであることに気づかせる必要があります。

地域・社会に対する興味・関心

Q 2 7 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

小学校

中学校



「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と答えた割合は、小学校は全国を若干下回りましたが、中学校は全国を2.2ポイント上回りました。

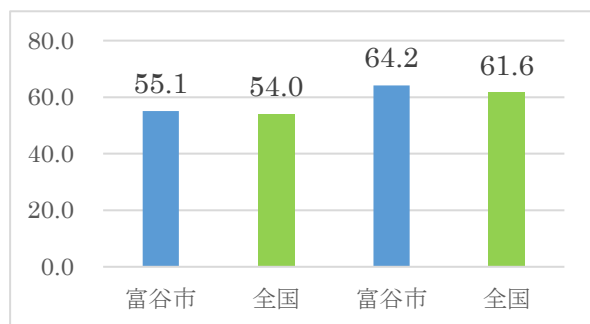
朝の会や帰りの会で地域や社会のことを話題にすることや、ボランティアなどへの参加の働きかけを行うことで効果を上げることが期待されます。

家庭学習

Q 1 7 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか＜1時間以上と回答した割合＞

小学校

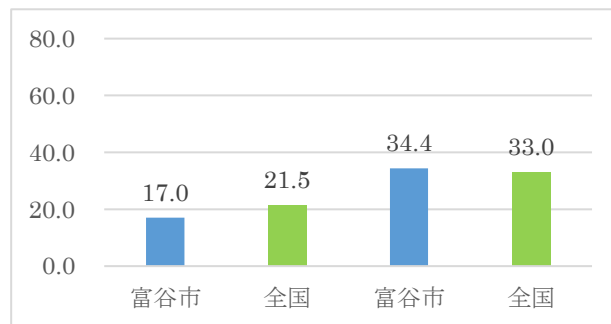
中学校



Q 2 2 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか＜2時間以上と回答した割合＞

小学校

中学校



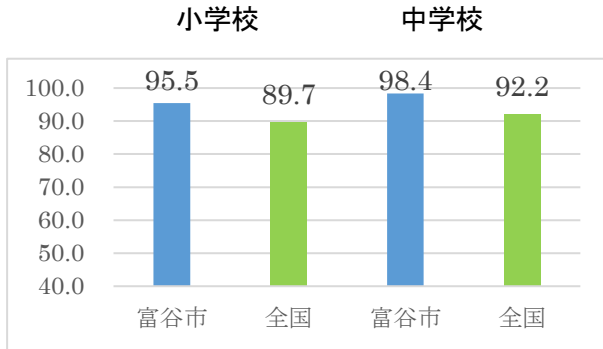
平日に1時間以上勉強するのは、富谷市の小・中学校は全国を上回り、特に中学校は2.6%上回りました。学校が休みの日に2時間以上勉強するのは、小・中学校とも平日よりもかなり少なくなりました。小学校で全国平均を下回りましたが、中学校は全国を上回っています。

家庭学習では、計画を立てて学習する具体例を示し参考にさせたり、計画的な学習の効果を教えたりするなど、継続的な指導が大切です。

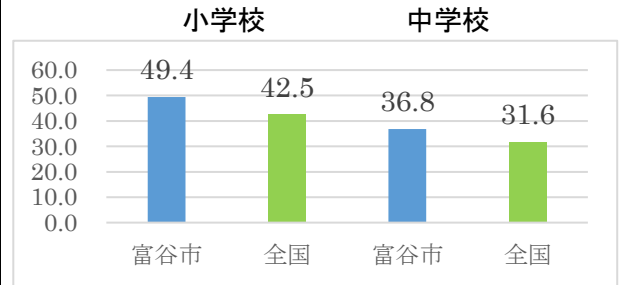
ＩＣＴの活用について

Ｑ２８ 授業で、コンピュータなどのＩＣＴ機器をどの程度使用しましたか

＜週１回以上と回答した割合＞



Ｑ１８ 授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、ＩＣＴ機器を、勉強のために使っていますか＜３０分以上と回答した割合＞

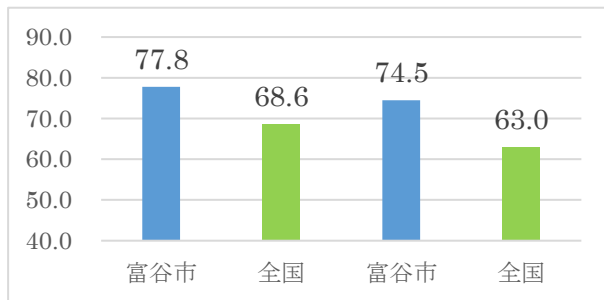


「授業でのＩＣＴ機器の活用」は、小・中学校とも全国を大きく上回っています。タブレット端末の配布等のハード面の整備とともに、市内各小・中学校の先生方の授業中の活用の成果が表れていると思います。授業時間以外の活用も小・中学校とも全国を大きく上回っています。ＩＣＴ機器が使える環境にあることを示すとともに、授業を通して、機器の操作技術的な面でも効果が上がっていることが考えられます。

学び合い・主体的な学び

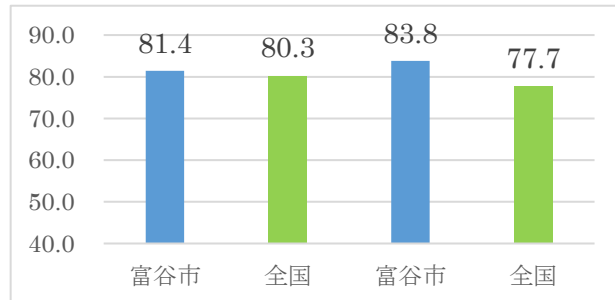
Q 3 1 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

小学校 中学校



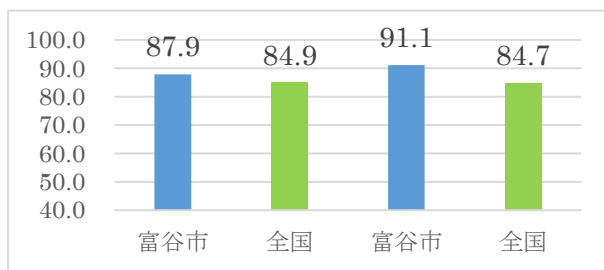
Q 3 2 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

小学校 中学校



Q 3 5 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

小学校 中学校



学び合い、主体的な学びに関する項目で、「資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する」「自分で考え、自分から取り組んでいる」「自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えている割合は、小・中学校とも全国を大きく上回っています。

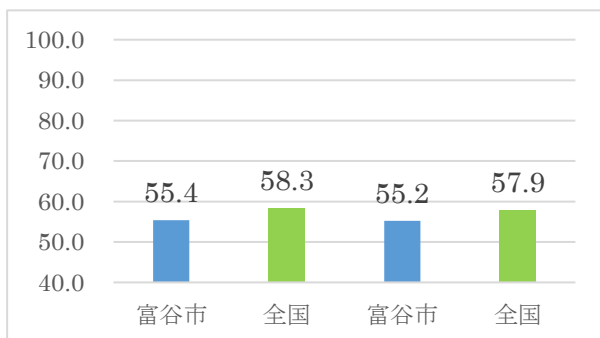
今後も、授業のねらいに応じて、学び合い活動を充実させ、主体的な学びが図れるように指導していくことが望まれます。

国語の授業について

Q 4 5 国語の勉強は好きですか

小学校

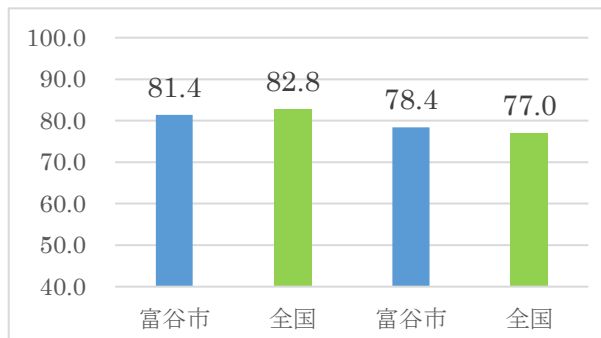
中学校



Q 4 6 国語の授業の内容はよく分かりますか

小学校

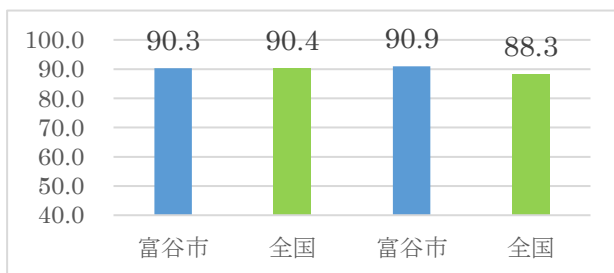
中学校



Q 4 7 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

小学校

中学校

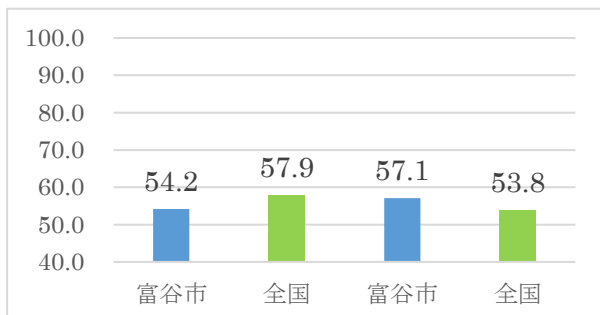


「国語の勉強が好きか」については、富谷市の小・中学校とも全国を下回り、「国語の授業が分かるか」については、小学校は全国を下回り、中学校は全国を上回りました。「国語で学習したことは将来役に立つ」については、富谷市の小学校は全国並みでしたが、中学校では全国を上回りました。富谷市の9割以上の児童生徒が「役に立つ」と答えています。

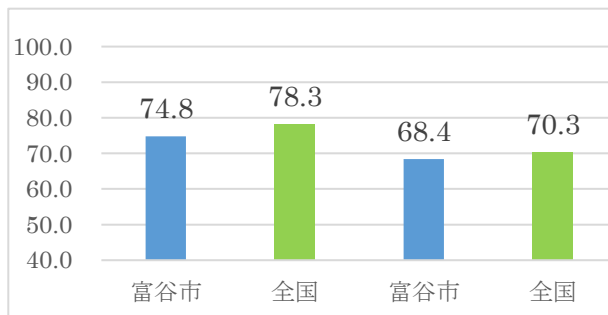
国語の面白さが伝わり、有用性が分かるような指導を心掛け、国語好きの児童生徒が増えることを期待します。

算数・数学の授業について

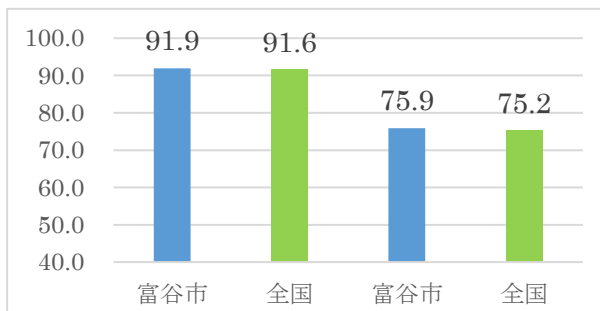
Q 5 3 算数（数学）の勉強は好きですか
小学校 中学校



Q 5 4 算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか
小学校 中学校



Q 5 5 算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
小学校 中学校



「算数（数学）の勉強が好きか」については、国語同様、小学校は全国を下回り、中学校は全国を上回りました。「算数（数学）の授業が分かるか」については、富谷市の小・中学校とも全国を下回りました。「将来役に立つか」については、富谷市の小・中学校とも全国並みとなりました。

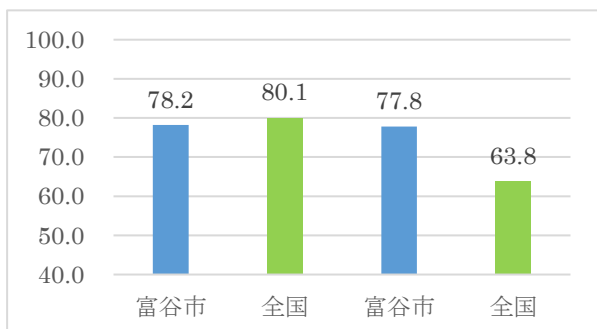
算数（数学）について「授業が分かる」ことが実感できるように指導の工夫や改善を行い、苦手意識を減らすことが重要です。

理科の授業について

Q 6 1 理科の勉強は好きですか

小学校

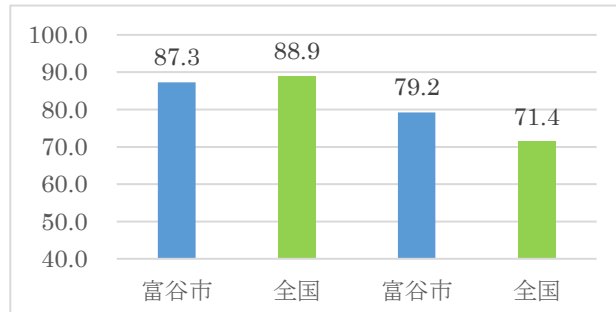
中学校



Q 6 2 理科の授業の内容はよく分かりますか

小学校

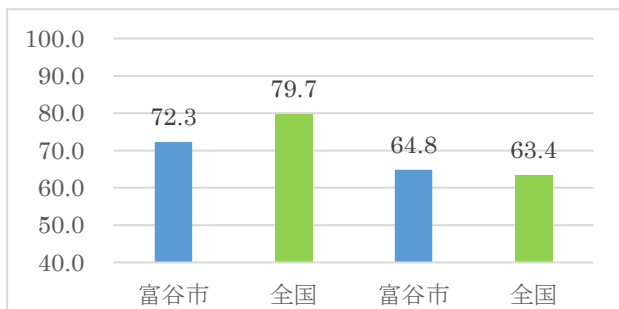
中学校



Q 6 1 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか、

小学校

中学校



「理科の勉強は好きか」「理科の授業は分かるか」「将来役に立つか」について、小学校は三項目とも全国を下回っていますが、「好き」「分かる」については、8割近くが「好き」、9割近くが「分かる」と答えていることから、さらなる指導の工夫や改善が望まれます。中学校については、三項目とも全国を上回り、特に「好き」と「分かる」で全国を大きく上回りました。中学校では自信を持って取り組んでいることがうかがえます。